

KAWASAKI Ninja650 Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➤ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造・削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➤ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➤ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➤ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➤ 5 ポジション可変システム	
➤ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➤ ステップバー 固定式仕様	

《 **注意 !!** 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 **Attention!!** 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等で養生して当たらないように工夫してください。

左右のスイングアームピボットカバーを取り外した後、ピボットナットを緩め外す。(チェンジ側)
チェンジカム及び、ステップホルダーを固定しているボルト2本を外し、チェンジ側のステップを車体より取り外す。

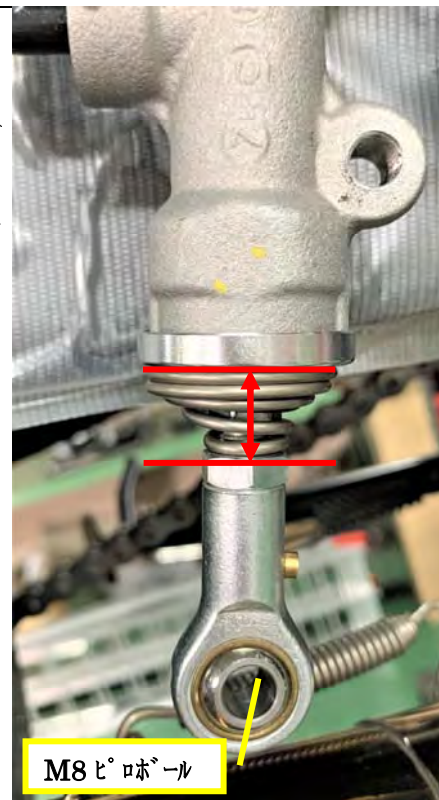
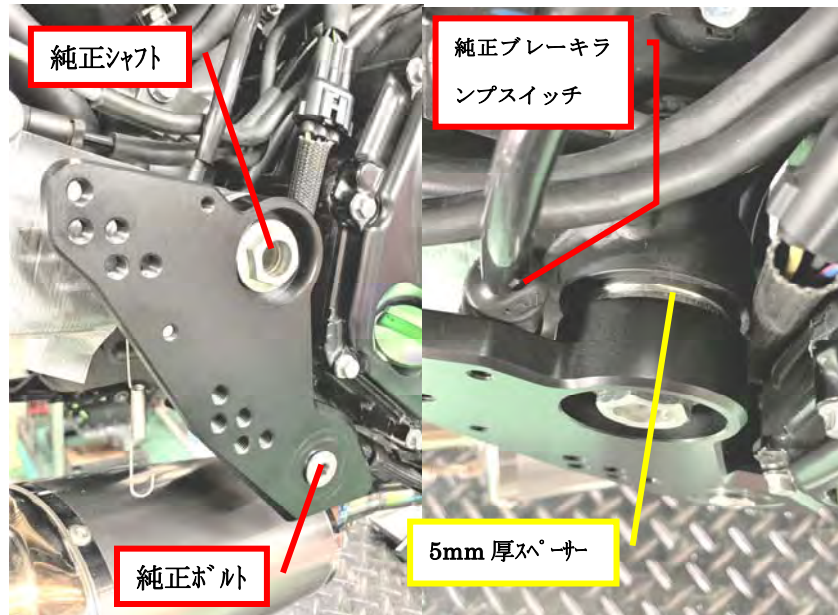
リアブレーキのマスターシリンダーとヒールプレートを固定しているボルト2本を取り外す。

マスターシリンダーのプッシュロッドを固定しているM8ナットを緩め、10mmのスパナでプッシュロッドを回し、マスターシリンダーをブレーキペダルから取り外す。

ピボットシャフトを外すため、車体を吊る、もしくはジャッキ等で車体を支え、オートバイが倒れない様に準備する。
ブレーキ側ステップホルダーを固定しているボルト1本を外し、ピボットシャフトを抜きステップを車体より取り外す。
ブレーキスイッチをステップホルダーから取り外す。

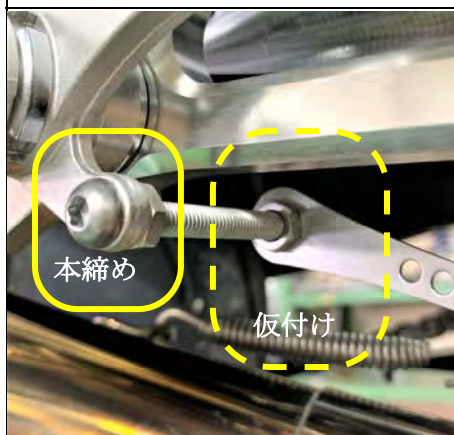
スイングアームピボットシャフトを外した逆の手順で、左右の純正ステップホルダーの代わりに左右のポジションプレートを、純正ボルトを使用し取り付ける。※右側に5mm厚のスペーサーを忘れず入れる。

下図右の様に、純正ブレーキランプスイッチをステーに取り付け、スイッチスプリングもスイッチの穴に通しておく。



左図の様に、
純正マスターシリンダーに
a) H/B リターンスプリングカラー
b) ペダルリターンスプリング No.10
c) 純正 M8 アジャストナット
の順でプッシュロッドの M8 ネジ部
に取り付け、
スプリングの上端と、一番下のナット
の上端 との 距離を 15 mm
(※ 左図矢印参照) に調整し
純正アジャストナットで仮止め
し、M8 ピロボールも取り付けしてお
きます。

※後で要再調整

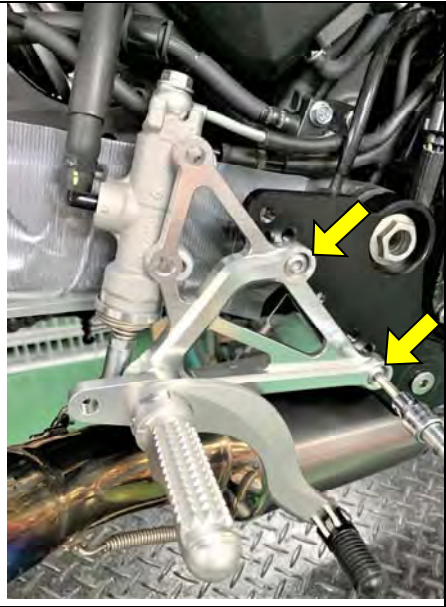


ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×60 を締め込み、裏から左図のように、M6ナットで本締めし完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

ステップホルダーを取り付ける前に、ブレーキスイッチスプリングを、スイッチロッドステーの穴に通しておく。

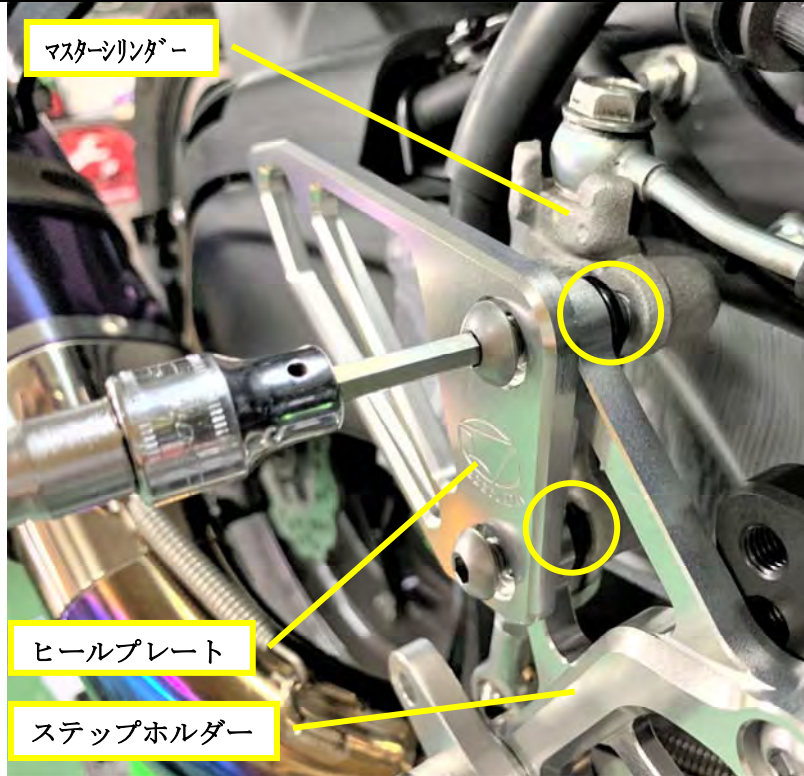
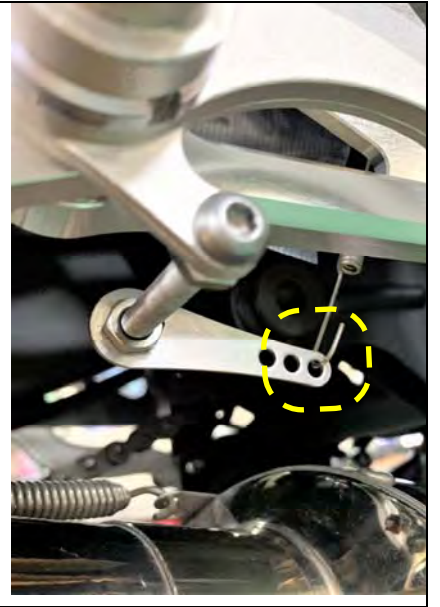




ステップホルダーを丸キャップボルト M8×15 で、好みのポジションに取り付ける。

※6ページのポジション表を参考にして下さい。

ブレーキスイッチスプリングがステアに付いている事を確認する。

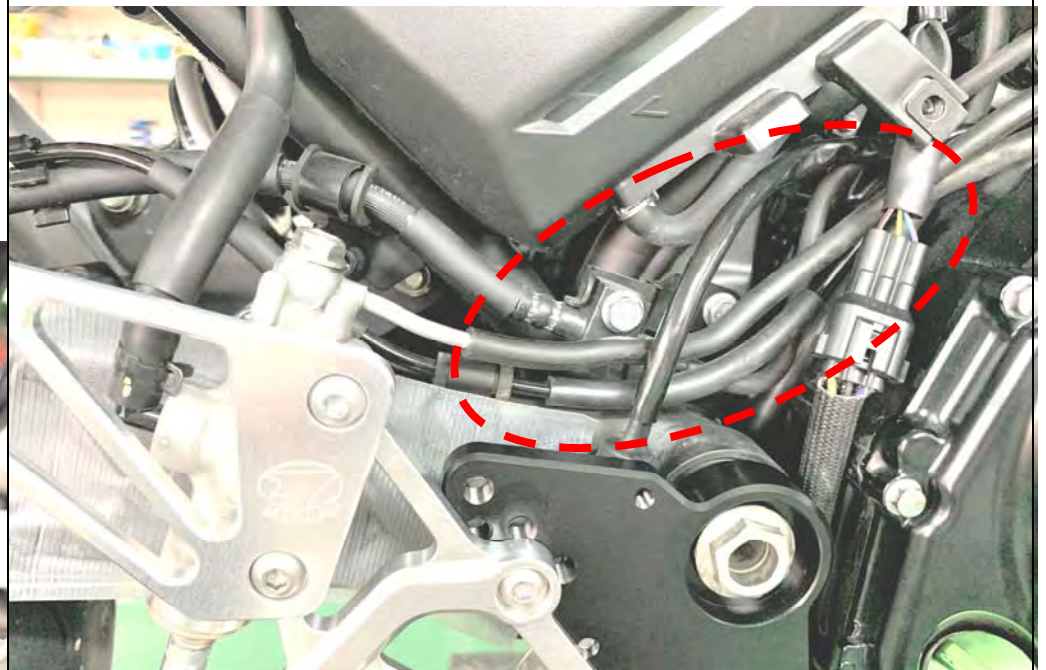
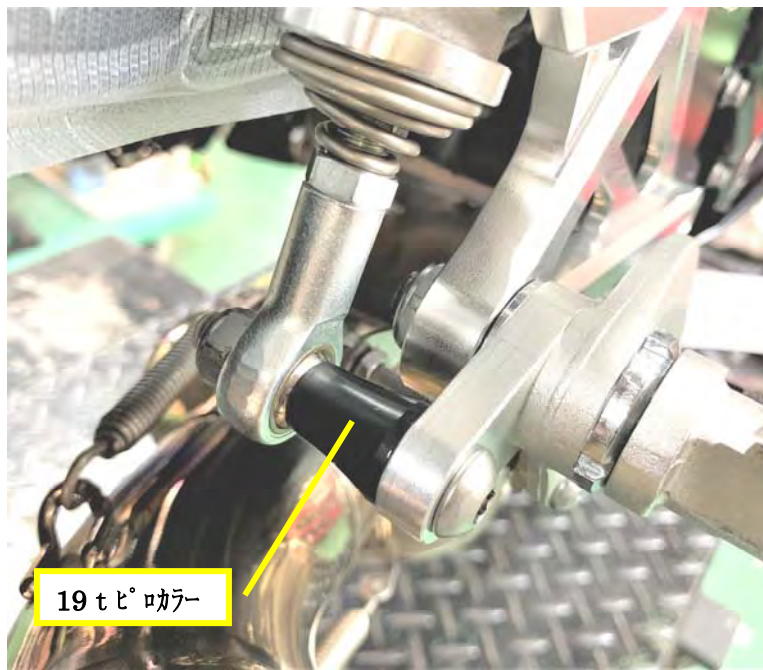


ヒールプレートとマスターシリンダーを丸キャップボルト M8×30 で、ステップホルダーを挟み込むかたちで取り付ける。

その際、左図の様にステップホルダーとマスターシリンダーの間に5mm厚のピロカラーを径の小さい方をマスター側にして取り付ける。

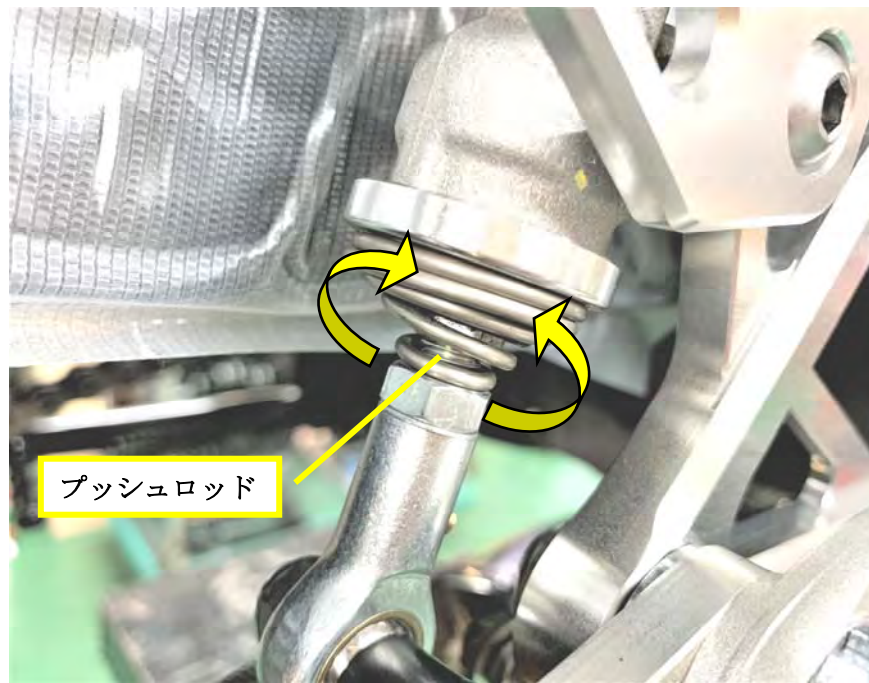
※マスターシリンダーを移動させる際、パイプの曲げ伸ばしが必要となりますが、パイプが折れたり潰れたりしない様に、十分注意して作業を行って下さい。

ブレーキペダルとマスターシリンダー間に、19mm厚のピロカラーを挟み、丸キャップボルト M8×50mm と M8 ロックナットで、マスターシリンダーとブレーキペダルを接合する。

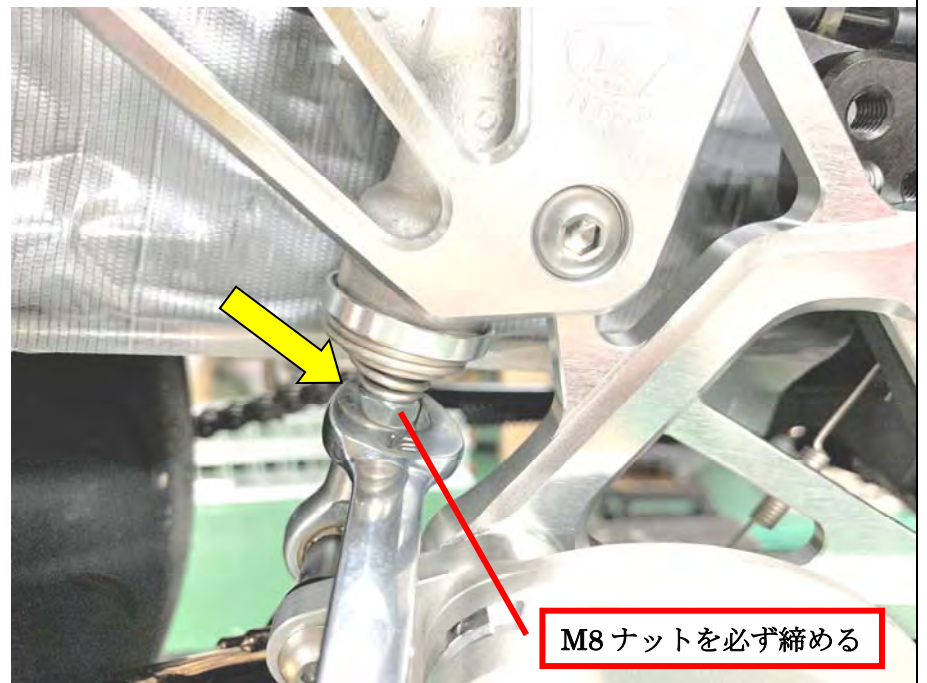


ブレーキパイプ、車速センサーとブレーキスイッチの配線の取り回しに不具合が無いか確認する。

ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm の薄口スパナで回転させ、調整します。



ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締め、プッシュロッドが回らない様に固定します。

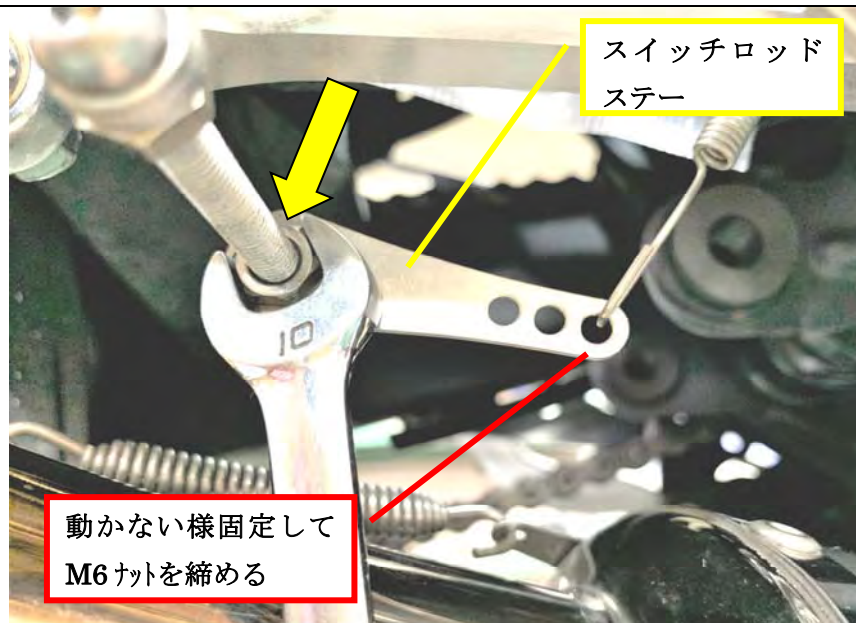


▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ締めてペダルの先端を下げます

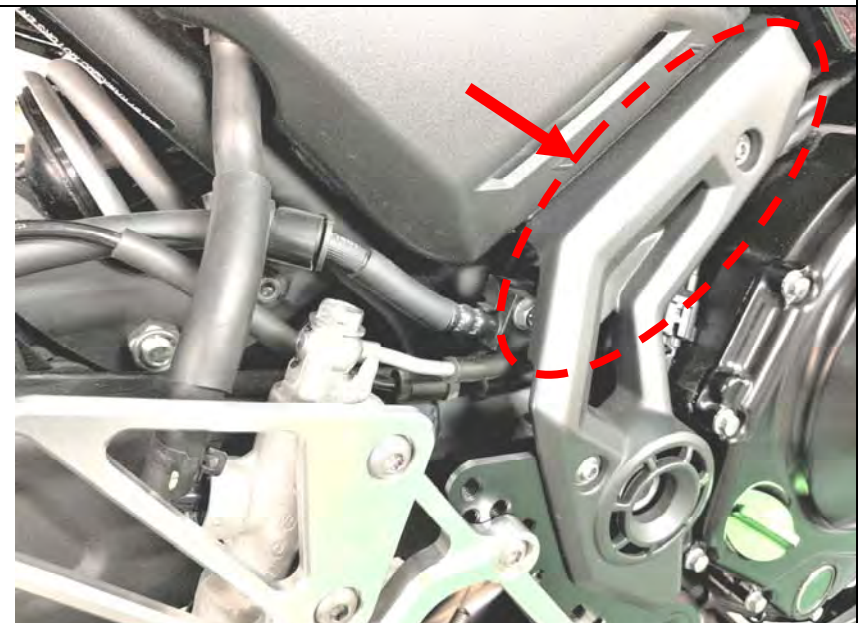
▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…
プッシュロッドを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。
※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを締める。



最後にピポットカバーを取り付ける。
ブレーキパイプの接触や配線の挟み込みが無い事を確認する。



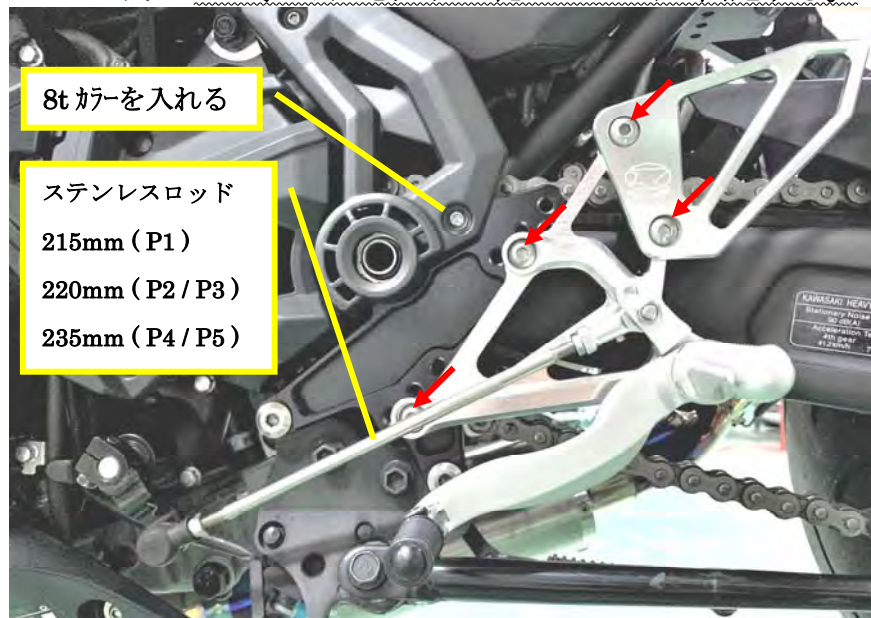
◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

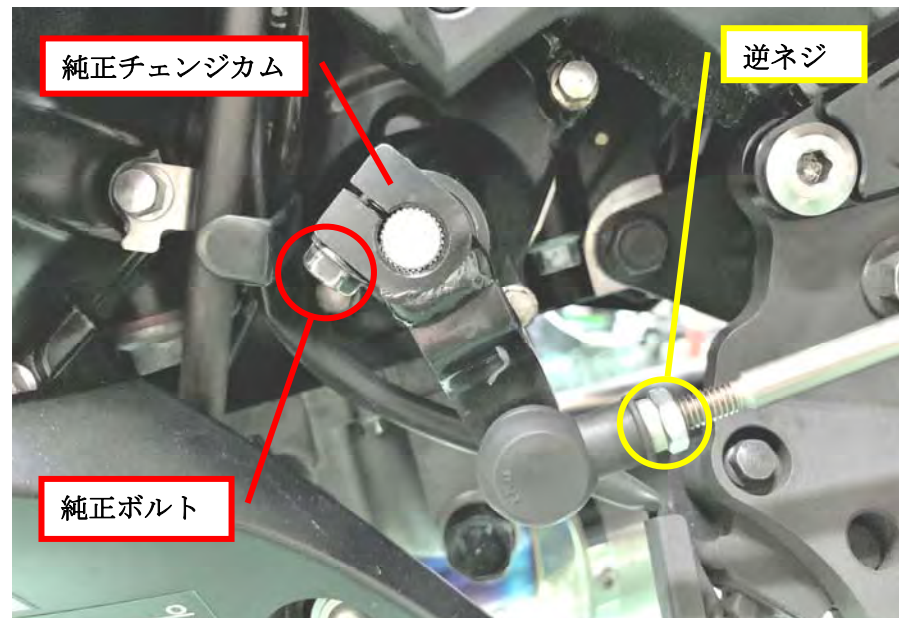
LH (チェンジ側) の取り付け

ブレーキ側同様に、ステップホルダー、ヒールプレート(丸キャップボルト M8×15)を取り付ける。

ピロットカバーを取付ける際、下側の取付部にはカバーとポジションプレートの間に 8mm 厚のガ-を入れて純正 M5 ボルトで固定する。



純正チェンジカムを表裏を逆に組付けて使用します。組付け角度は下の写真を参考にして下さい。



※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。

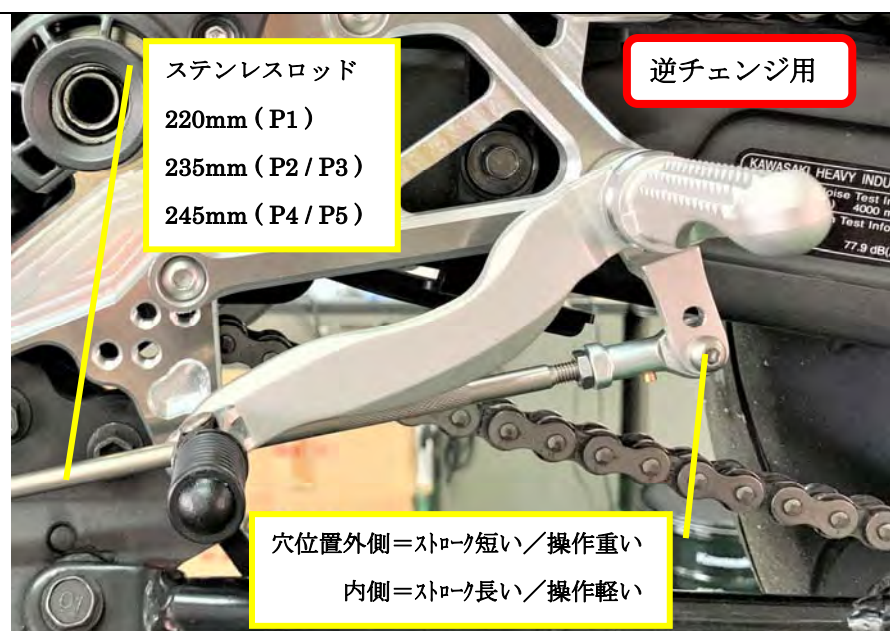
純正チェンジカムとチェンジペダルのピロボールをステンレスロッドで繋げ、チェンジペダルの高さをロッドの長さを調整し、好みの高さに合わせる。
調整後、必ず2つの M6 ナットを本締めする。

※ 付属のステンレスエクステンションロッドを取り付ける際は、

- ステンレスロッドの前端 M6 逆ネジ
- ステンレスロッドの後端 M6 正ネジ

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!

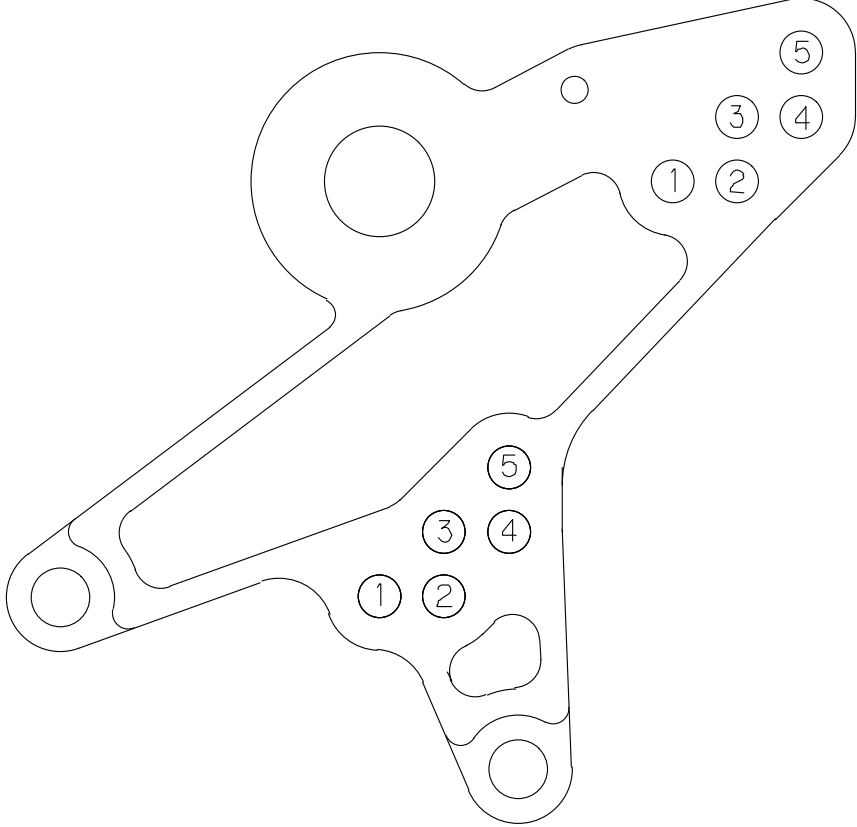


停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	<i>BACK</i>	<i>UP</i>	
<i>Pos.1</i>	<i>4 0 mm</i>	<i>3 0 mm</i>	
<i>Pos.2</i>	<i>5 2 mm</i>	<i>3 0 mm</i>	
<i>Pos.3</i>	<i>5 2 mm</i>	<i>4 2 mm</i>	
<i>Pos.4</i>	<i>6 4 mm</i>	<i>4 2 mm</i>	
<i>Pos.5</i>	<i>6 4 mm</i>	<i>5 4 mm</i>	

》 注 意 点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションが有りますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能ですですが極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

<p>弊社製品に関するお問い合わせは、</p> <p style="text-align: center;">TEL. 072 (257) 7600 FAX. 072 (259) 6600</p> <p style="text-align: center;">(株) 日本ビート工業 まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ホームページ URL http://www.beet.co.jp/ ➤ 商品関連 e-mail アドレス sales@beet.co.jp ➤ 技術関連 e-mail アドレス support@beet.co.jp 	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; margin: 0;"><i>BEETWebsite</i></p> <p style="font-size: 0.8em; margin: 5px 0 0 0;">Web サイトを開設しております。 左記 URL にて ご覧下さい。</p>
--	--	--